

2026年度 定時総会の開催報告



2026年6月18日（木）
クレオ大阪中央において、
「公益社団法人大阪市シル
バー人材センター2026年
度定時総会」を開催いたし
ました。

総会員数8,244名のうち、
総会当日は、4,872名（出
席者236名、委任状提出者549名、3議案の賛成議決
権行使者4,087名）の出席となりました。総会は正会
員の天井亜矢子さんの司会によって進行され、開会に
あたって、諫山保次郎理事長の挨拶に続き、向井順子

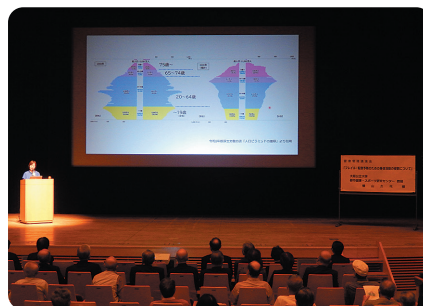


大阪市福祉局長からご祝辞をいただき、ご臨席の向井福祉局長、森浩一福祉局高齢
者施策部長及び近藤博基高齢福祉課長の紹介のあと、正会員の眞壁健理事が議長に
選出され議案審議に入りました。提出された議案は「2025年度事業報告」「2025
年度決算報告及び監査報告」「役員の選任」の3議案で、いずれも原案どおり可決
承認され、理事会の承認事項の「2026年度事業計画」「2026年度収支予算」の
2点について報告されました。

第1部の定時総会では、活発な質疑が行われるなど盛会のうちに閉会しました。

引き続き、第2部の健康管理講演会を開催し、「フレイル・転倒予防のための
身体活動の役割について」と題して、大阪公立大学都
市健康・スポーツ研究センター教授の横山久代様から
ご講演いただきました。

「年齢とともに心身の機能が衰え始める状態である
フレイル」と、「転倒予防のための身体活動」などに
ついて、わかりやすくご説明をいただき、大変有意義
な講演となりました。



新役員の紹介

新たに就任された役員の方々をご紹介します。

理 事 長	諫 山 保次郎			
副 理 事 長	野 口 一 郎	前 田 葉 子		
常務理事兼 事務局 長	平 野 博 士			
理 事	白 澤 政 和	多 田 龍 弘	松 山 繁 樹	
	眞 壁 健	森 山 具 樹	藤 脇 一 夫	
	佐 伯 重 三	木 村 道 子	小 林 秀 子	
	増 井 和 章	金 子 政 信		
監 事	三 原 秀 章	魚 住 誠 一		

（順不同）

退 任 役 員 紹 介

長年にわたってセンターの運営にご尽力
賜りました次の役員の方が退任されました。

理 事	虫 明 豊 美 様
理 事	片 岡 孝 夫 様
理 事	井 上 貞 彦 様

（順不同）

大変、お世話になり誠に
ありがとうございました。

理事長あいさつ要旨

皆さん、こんにちは。ご紹介をいただきました諫山でございます。

会員の皆様には、2026年度定時総会にご参加をいただき、誠にありがとうございます。

また、本総会の準備・運営に携わっている会員の皆様、職員の皆様方に感謝を申し上げます。

本日はご来賓として、公務ご多忙の中、大阪市福祉局長の向井様をはじめ、幹部の皆様にご臨席をいただいております。福祉局の皆様には、当センターに多大なご支援、ご指導をいただいておりますことに、この場をお借りいたしまして厚くお礼を申し上げます。

さらに、発注者様はじめ関係者の皆様のご支援、お力添えに深く感謝申し上げますとともに、会員の皆様におかれましては、親切・丁寧をモットーに就業に励まれ、地域社会に貢献をされていることに、心から敬意を表する次第でございます。

当センターのこの間の取組みでございますが、会員の拡大につきましては、出張入会説明会やハローワークのシニアセミナーでの普及啓発、また、入会説明会にWEB上から申し込めるようにするなどの取り組みを行い、会員数は前年度に比べ2.3%増の8,152人となりました。

会員の皆様にも、ご親族や知人の方にお声がけいただくなど、ご協力いただければ幸いです。

就業の場の確保につきましては、様々な分野の企業への訪問による就業先の開拓に加え、発注者様等へ就業人員の増加のお願いをするなどの取り組みを行い、契約金額は、労働者派遣事業を含め前年度比6.1%増の28億4,369万円となり、過去最高額となりました。

今年度も、ICT技術のさらなる活用も図りながら、引き続き、会員拡大と就業機会の確保の取組みを積極的に進めてまいります。

何より大切なことは、「安全就業の確保」でございます。皆様充分ご注意をいただいていることと存じますが、自宅を出てから帰宅するまで安全第一で就業い



理事長 諫山 保次郎

たいただきますようあらためてお願い申し上げます。

また、今日も気温が30度になるということで暑くなっておりますが、これから、こまめな水分補給など熱中症予防にも十分ご留意をいただきますようお願いを申し上げます。安全就業対策については、引き続き強力に取り組んでまいります。

さて、想定を上回る速度で高齢化が進展し、高齢化率が29.3%となる中、介護費用の増大などへの対応が喫緊の社会課題となっております。一方で、このほど発表された調査研究では、シルバー人材センターで就業をされている会員は、就業されていない地域の高齢者の方々と比べまして、要介護の前段階の状態であるフレイルの発生リスクが30ポイント以上も低いことが明らかとなりました。

このようにシルバー人材センターは、高齢者の生きがい就業という、わが国独自の画期的な仕組みとしてだけでなく、直面する社会的課題の解決に貢献しうる存在として、その重要性はますます大きくなってまいります。

こうした状況を踏まえ、会員の皆様方と役職員が一体となり、事業の一層の推進に努め、活力ある地域社会の構築に寄与していくことが大切であると考えておりますので、ご参会の皆様をはじめ関係各位の皆様のなお一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

2025年度事業実績報告

●会員数（2026年3月末）

8,152人（対前年+180人、+2.3%）
（男：4,944人、女：3,208人）

●就業実人員（派遣含む）

5,590人（対前年+73人、+1.3%）

●就業率

68.6%（対前年-0.6ポイント）

●契約件数（派遣含む）

44,650件（対前年+1,218件）

内訳 { 公共 1,578件（ -16件）
民間 43,072件（+1,234件）

●契約金額（派遣含む）

2,843,687千円（対前年+163,902千円）

内訳 { 公共 538,354千円（ +40,447千円）
民間 2,305,333千円（+123,455千円）